

27 遠距離での介護が大変です

Q

親は離れて生活しているのに、現状を把握するのが難しい。また、自分が住む市ではないので、相談先が分からず不安です。[50代]



A

介護が始まる前なら、介護を受ける方の地域の地域包括支援センターへ相談(→3)、すでに介護が必要なら、介護サービスを利用し定期的に状況を確認できるようにするのが良いでしょう。ケアマネジャー(→13)やご近所の方ともコミュニケーションを取れると安心です。



相談先は？

介護保険の運営主体(保険者)は市区町村です。各市区町村が中心となりその地域の特性に応じた情報やサービスを提供しているため、介護を受ける方がお住まいの地域の地域包括支援センターへ相談する必要があります。介護を受ける方ご本人の同席がなくても相談できますし、遠方の場合は、電話での相談もできます。遠距離介護が始まる前に備えておくべきことを聞いておくといいかもかもしれません。

介護を受ける方が
ひとりにならないために

遠方のご家族に介護が必要な場合、介護サービスを利用して、そのご家族がひとりでいる状態を少なくすることができます(→12)。そのほか、介護を受ける方の生活リズムや交友関係、かかりつけ医などを把握しておくこと、ご本人と連絡が取れない際の助けになるかもしれません。

≡ 生協の見守りサービス/宅配時のサービス ≡

生協によっては、高齢の組合員について、毎週のお届け時間やお届け時の様子(在宅/不在、次回注文有無など)を親族の方にメールでお伝えするサービスを行っています。お届け物が放置されているなど、異変を感じた際は見守り協定にもとづき市区町村へ連絡する緊急通報サービスを実施している生協もあります。